

げん

ぶく

いわい

かみ

あげ

いわい

元服祝と髪上祝

私たちの人生儀礼

元服祝・髪上祝とは、次世代を担う子供たちが、その成長期を明るく楽しく心豊かに過ごし、「男は男らしく、女は女らしく」、大人の自覚を持ち、社会に羽ばたくための人生儀礼です。家族揃って神社に参拝し、大人への第一歩を歩み始めることを神々に奉告しましょう。

げん

ぶく

いわい

元服祝

(男子:十五歳)

かつて武士の子息は、元服を迎えると神社で武運長久を祈り戦陣へと赴きました。

元服とは、一人前の男として重要な責任と義務を負い、社会の仲間入りを果たす年齢を意味します。強い身体と精神力を持った「益荒男」として雄々しく男らしく成長してほしいと祈る人生儀礼です。

かみ

あげ

いわい

髪上祝

(女子:十三歳)

十三歳は、自分の干支を初めて迎える歳まわりで、身も心も大人の女性へと成長する年齢です。古来神社に詣で初めて「かんざし」を髪にあて、初めて帯を腰に結ぶ儀式を行っておりました。

「大和撫子」と日本女性を称えてきた言葉が示すように、心清らかで勇気・機転・情愛を持ちあわせた大人の女性に成長してほしいと祈る人生儀礼です。